



今年度も早いもので、半年が過ぎました。今回のかわら版では、この上半期に河川課で行った行事や十一月に開催するシンポジウムの案内について掲載します。

今後は、県内における大雨などによる被災状況や復旧、また河川事業に関する様々な行事や話題、県内で活躍されております河川愛護団体などの紹介をしてみたいと思います。

皆様からのご質問やご意見を伺いながら編集してまいりたいと思っておりますので、引き続き河川かわら版をよろしくお願い致します。



小貝川からみる筑波山

◎「森と湖に親しむ旬間」ダム見学会について

【河川課の行事】

森林や湖に親しみ、ダム等の重要性について理解を深めていただくことを目的とした「森と湖に親しむ旬間（主催・国土交通省等）」の関連行事としてダム見学会を毎年開催しております。七月二十八日（日）は、猛暑の中、飯田ダム（笠間市飯田）と十王ダム（日立市十王町友部）で約六百名の参加がありました。参加者は、ダム管理事務所内にある操作室や巨大なゲート監査廊※（かんさろう）等の見学を行いました。

参加者からは、「ダムにいろいろな機械があつて驚いた」、「外は暑いけど、監査廊の中は涼しかった」等の感想が聞かれました。

ダム見学会は、来年も七月下旬に開催を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

※監査廊・・・ダムの内部にあり、漏水等の異常の有無を観察・測定するための管理用通路です。気温は、年間を通して約十度に保たれております。



監査廊の中で記念写真!はいポーズ!!
夏休みの思い出になったかな?



操作室にある機械の多さに驚いておりました。



十王ダム



飯田ダム

両方のダムとも、暑い中、小さいお子さんを含めたたくさんの方々が参加してくれました。



第六十二回利根川水系連合水防演習が、五月十八日（土）に千葉県香取市佐原地先の利根川右岸河川敷で開催されました。

当日は、梶山国土交通副大臣が総裁となり、地元香取広域市町村圏事務組合香取市消防団による水防工法の訓練や香取市民による避難訓練、国土交通省利根川下流河川事務所による水防支援活動等の水防訓練や、香取広域市町村圏事務組合消防本部や千葉県警察本部、陸上自衛隊等による救出・救護訓練などがあり、本番さながらの演習が実施されました。

また会場内では、見学者による土のうづくりや体験車両への乗車などの体験コーナーが賑わっておりました。

この利根川水系連合水防演習は、昭和二十二年のカスリーン台風による被災を契機に、地域を守る水防団の士気高揚を図るとともに、水防技術の向上と後継者の育成を図り、地域住民の防災意識を高めることを目的に、昭和二十七年建設省・一都五県・（社）日本河川協会の主催により、第1回の利根川水系連合水防演習が開催されました。以来、台風の来襲による中止（二回）や東日本大震災による中止があるものの、毎年利根川水系沿川の五県（埼玉県・千葉県・栃木県・群馬県・茨城県）の持ち回りで実施されております。

来年度は栃木県宇都宮市、平成二十七年は群馬県、平成二十八年度は茨城県で開催を予定しており、一般の方も見学可能、必見です。

ごとく 五徳縫い工



法面に発生した亀裂に竹とロープを使い、竹の弾力で拡大を防止する。

木流し工



木に土のうを付け、川の中に流すことにより堤防に当たる流れの勢いを弱めて洗掘を防止する。

茨城県の水際線（川や湖沼などの水辺とその周辺）は、良好な自然環境が残されています。この水際線を守り次世代に引き継ぐとともに、今回は下妻市を会場に鬼怒川・小貝川流域の変遷と人々との関わり、今後の水辺環境の整備やまちづくりについて、県民の皆様とともに考えるシンポジウムを開催いたしますので、皆様のご来場をお待ちしております。

○日時：平成二十五年十一月十九日（火）
十三時三十分～十六時三十分

○会場：下妻市民文化会館（下妻市本城三―三六一―）

○テーマ：「川と人とのふれあい」水辺を活かした地域づくり」
・基調講演 講師 宮村忠氏／関東学院大学名誉教授
・パネルディスカッション

※申込みは不要です。無料となっておりますので、どなたでもご自由にご参加できます。当日会場へ直接お越し下さい。



昨年の状況(日立市シビックセンター)



拡大図



会場案内図

【河川かわら版】
発行 茨城県土木部河川課
〒310-8555 水戸市笠原町978番6
TEL 029-301-4485
HPアドレス
茨城県 <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/>

